



新春号

伊勢シルバー

第34号

発行：編集 令和5年（2023年）1月1日
公益社団法人 伊勢市シルバー人材センター
〒515-0505 伊勢市西豊浜町141-1
伊勢志摩総合地方卸売市場2F
電話 0596-37-7170 FAX 0596-37-7172
ホームページ：https://webc.sjc.ne.jp/ise-sc/index



油彩画 早春の浦（五ヶ所の海苔そだ風景）

作品提供 明倫地区 豆原 保さん

賀正



理事長 角前 明

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が拡大し過去最多の感染者が発生する中で、当センターの受注件数、契約金額は昨年度に引き続き減少しセンターの運営に影響を受けました。しかし、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと会員の皆様のためまぬ努力、市民や関係事業主及び行政機関からの当センターに対し格別のご理解とご支援により影響を最小限に抑えることができました。心より感謝を申し上げます。

本年は、新型コロナウイルス感

く福祉的な役割も担い、地域貢献という意識で、ボランティアにも積極的に参加いただければありがたいと思います。

染症が完全に収束しない中で、月に導入予定の消費税におけるインボイス制度が施行されますと、相当額の新たな税負担が発生しますが、役員及び職員は元より、会員の皆様のご理解とご協力をいただき、シルバー人材センターが一丸となりこの究極の状況を乗り越って行きたいと考えています。

昨今「地域福祉」というキーワードが重要視されています。そういった時代だからこそ、シルバー人材センターの役割も見直すべきではないかと思えます。会員の大きな役割は就業ですが、一方で行動するシニア世代として地域を活性化し、身近な高齢者を支えてい

自らが地域社会に積極的に関わり、他人や社会とのつながりや温もりを感じることで「生きがい」が生まれます。家にこもるのでなく、社会に出ていく行動的なシニアでなければ得られない「生きがい」です。シルバー人材センターは、皆さんの人生をより豊かなものにするため、個人的な欲求だけではない、もう一つの「社会的生きがい」を提供し、皆さんの人生を支援できる場であり続けたいと願っています。

今年も、当センターが地域社会に根差し地域住民に愛され、親しまれる存在であり続けるとともに、小さなニーズにも応えられ頼られるシルバー人材センターを目指していきますので、役員、職員、そして会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、会員の皆様並びにご家族の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。



謹賀新年

本年もよろしく

お願い申し上げます

令和五年 元旦

役員一同

- 理事長 角前 明
- 副理事長 井坂 裕行
- 常務理事 下村 浩司
- 理事 上野 徳子
- 理事 小野 敬司
- 理事 北川 幸博
- 理事 佐々木一晃
- 理事 中崎 茂
- 理事 中辻 一恵
- 理事 中村 龍平
- 理事 西 茂美
- 理事 南 千佳子
- 理事 森本千賀子
- 監事 水島 徹
- 監事 山崎 隆子

(五十音順)

迎春



伊勢市長 鈴木 健一

年始ご挨拶

伊勢市シルバー人材センターの
会員・役員の皆様、並びにシルバー
事業にご尽力いただいている関係
者の皆様には、新春を健やかにお
迎えるのことと、謹んでお慶び申し
上げます。

日頃から、市の行政各般にわた
り、格別のご理解とご協力を賜り、
誠にありがとうございます。

さて、コロナ禍により中止を余
儀なくされていたイベント等も
徐々に再開されるなど、社会経済
活動は以前に戻りつつあり、雇用
情勢も企業の人手不足感が高まっ
ている状況になっています。

また、本市の高齢化率は上昇が

続き、令和7年には市民の3人に
1人が65歳以上になると推計され
ており、1人暮らしの世帯や高齢
者のみの世帯が増加し、医療や介
護、生活支援の需要が更に高まる
ことが予測されます。住み慣れた
地域で、心身ともに健康で、生き
がいをもって暮らせる環境づくり
が求められております。

そして、地域に目を向けると、
住民のつながりの希薄化、地域で
の活動者の高齢化や担い手不足が
問題となっています。

このような中であって、自らの

能力を活かしながら、自分なりの
働き方で社会参加をしたい方に對
して、それぞれが望む就業機会を
提供する貴センターの役割はます
ます重要となっております。

コロナ禍を経て社会が激しく変
化する今日において、働く意欲の
ある高齢者のニーズをお汲み取り
いただき、活発な事業活動を展開
されますことを大いに期待してお
ります。

市としましても、日々の生活を
いきいきと楽しんでいただける活
気あふれる伊勢市となるよう、努
力してまいる所存です。

結びに、引き続き感染防止対策
を徹底していただくことをお願い
申し上げますとともに、伊勢市シ
ルバー人材センターのますますの
ご発展と、会員の皆様、ご家族の
皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申
し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

あけまして
おめでとうございます

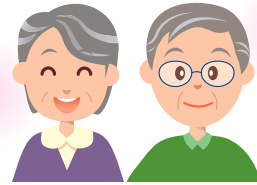
会員互助会役員一同

- | | |
|-----|-------|
| 会長 | 豆原 保 |
| 副会長 | 金森 泰彦 |
| 副会長 | 西川 晃 |
| 副会長 | 豆原 幸子 |
| 会計 | 井坂 裕行 |
| 幹事 | 東 はる美 |
| 幹事 | 黒瀬 恵子 |
| 幹事 | 中崎 茂 |
| 幹事 | 中西 章 |
| 幹事 | 中村 秋次 |
| 監事 | 吉田 久 |
| 監事 | 下村 浩司 |

事務局職員一同

- | | |
|---------|-------|
| 事務局長 | 下村 浩司 |
| 事務局次長 | 堀 毅 |
| 主任 | 中津希与美 |
| 総務・経理担当 | 鎌谷 美穂 |
| 業務担当 | 古布 武 |
| 業務担当 | 渡部 舞 |
| 業務担当 | 下井 まゆ |

会員の広場



今年の年男・年女は84歳の方が6名、72歳の方が53名です。この中から10名の会員さんに、次の内容について寄稿いただきました。
(年齢・会員番号順記載)

①趣味として楽しんでいること
②これからの抱負・目標



奥出 美代
(厚生地区)

①シルバーに平成十七年に入会してはや十七年になります。シルバーさんには、長いあいだお世話になっております。趣味は、民踊、グラウンドゴルフ、と一足す(シルバー歩こう会)、旅行などで特に民踊は、伊勢音頭地方ちかたの民踊おどりです。今はコロナ禍で、どこにもいきませんが、各町の祭りなどがあると友達とよく参加します。

②健康は今のままで楽しく一日一日を元気に暮らし、けが、病気などに気をつけて、シルバーへ入ってから、2回目のうさぎ年を迎え、がんばっていきたいと思っています。



福岡 いさ枝
(二見3地区)

①趣味はドライブ旅行と踊りでしたが、今はコロナ禍で旅行も出来ずグラウンドゴルフ、特にシルバーのグラウンドゴルフで会員の皆様との交流を

楽しんでいきます。昨年の伊勢まつりでは伊勢音頭を踊ることが出来幸せでした。

②私はこれからの人生、健康第一に一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。シルバーに入会して十数年、現在はゴールド会員ですがシルバーのお陰でたくさんの方と会え感謝しています。



藤本 眞彦
(四郷地区)

①40年間勤めた仕事を定年退職後、シルバーからの仕事を頂き、やがて11年目に入ります。若い頃から車やスキー、サーフィンとアクティブに動くことが好きでした。今はその中でゴルフが唯一の趣味として続けています。友人達やシルバーのゴルフクラブにも入会しています。

②昔から元気が自慢の私も昨身体調を崩して以来「健康」の大切さをひしひし感じて体調管理も気をつけています。日々笑顔忘れず周りとの協調しながら、80歳を過ぎても大好きなゴルフが続けられるように仕事も楽しんで頑張りたいと



成岡 厚
(二見地区)

思っています。

①15年程前から始めた家庭菜園で20数種類の野菜を種まきから収穫まで丹精込めて育てております。妻から「食費助かるわ」と言われ、「豚もおだてりや木に登る」じゃないけれど、喜んで畑仕事をしています。同時に田舎暮らしと四季折々の旬野菜を楽しんでいます。また、同居している3人の孫との触れ合いも楽しみの一つです。

②地元の先輩からシルバーへの入会を誘われ、剪定の仕事を始めて6年半になります。古希を過ぎ、日々衰えを感じるようになってきましたが、健康第一で体力の続く限りメンバールと楽しく仕事をしていきたいと思えます。





稲葉 洋二
(宮本地区)

① 藤里団地防犯見回り隊のボランティア活動で毎朝、小中学生の登校時の見守り活動をしています。「おはよう！」という子供達の声に元気をもらい、心身共に健康な日々を過ごしています。また、市の自主防犯団体にも所属し、月に数回、市危機管理課や警察と共に特殊詐欺撲滅のチラシ配り等啓発活動を行い、色々説明を聞いてもらっています。

② 今後も多くの人々との交わりを大切に、ボランティア活動を楽しんでいきたいと思っています。



松家 フキ子
(小俣3地区)

① 若い頃から釣りが大好きで、よく船釣りをしています。潮風の中、気分が最高になります。近鉄沿線ハイキングやお伊勢さんマラソンのウォークに毎年参加しておりますが、コロナ禍で遠方にも行け

ず残念でした。少し落ち着いてきましたので、又参加して楽しみたいと思います。

② 健康維持のため、一日一万歩を目標に歩き、無農薬野菜作りで、色々なレシピを考えて、日々元気で、頑張っていると思います。



竹内 一彦
(小俣2地区)

① 長年家庭菜園を楽しんでいますが、昨年足を痛めてしまい、耕作地を大幅に減らすことになりました。それでも土とふれあうことは楽しく、少しでも季節の野菜を作り、家族や知人と分け合い笑顔が返ってくるのが私の喜びであり、幸せです。

② 昨年義母が亡くなり、長年続けてきた書店を妻が引き継ぐことになりました。経営に関しては分らないことばかりで、日々四苦八苦しております。今年目標は少しでも妻を助け書店経営を軌道に乗せ、町の方々が気楽に立ち寄っていただける「町の本屋さん」を目指し頑張りたいと思っています。



藤原 義明
(神社地区)

① 時々朝熊山に登っています。殆どは出会いの広場から「朝熊岳道」を登りますが、たまに眺めがよく日当たりのよい「宇治岳道」から登ったりします。金剛證寺の弘法大師にボケ封じを祈願し、山頂展望台からの眺めや季節毎の山頂公園の花木の移り変わりを楽しんでいきます。登っている人は自分よりも年配の方や女性の方も結構多く、自分も次の御木曳や御白石持ちに参加できるだけの体力を維持しなければと思っています。

② 安全に楽しく仕事をし、年を取る毎に経験の積み重ねによる技能向上ができればと思っています。ただ、失敗や物忘れも多く、お客様にだけは迷惑をかけないよう、心掛けていきます。



近藤 秀一
(大湊地区)

① 趣味というほどのことはあり

ませんが、伊勢に移住して26年ほど経ちます。伊勢周辺の場所によく友人と出かけます。鳥羽の神島などに、10回ほど行きました。伊勢神宮をはじめ島めぐり等、年がいもなく楽しんでいきます。

② とにかくいつまでも好奇心をもって活動したいと思っています。



岡井 健
(小俣5地区)

① 退職してから始めたインスタも3年が経ちました。最初は孫の写真が多かったのですが、最近は季節の花、風景、空、月などを日記がわりに投稿しています。現在五百数十件投稿し、フォロワーの方も千人を超えました。投稿するたびにインターネットで調べるのでお陰様で随分知識も豊富になりました。

② ここ3年で脳梗塞と頸椎骨折で闘病生活を送りましたが、元気になりました。職場の間とウォーキングや山登りで日々健康で過ごせるよう精進していきたいと思っています。

「伊勢まつり」に参加して

女性の会 会長 豆原 幸子

10月9日一之木交差点の本部前で、女性の会を中心に男性会員さんも6名参加され、総勢25名で伊勢音頭さわぎ・長生き音頭・伊勢はよいとこの3曲を踊りました。練習は新道と本所で6回程でしたが、当日は皆様すばらしく上手に踊られとても嬉しく感動しました。お天気は心配でしたが、小雨が少し降っている程度で4年ぶりに伊勢まつり行事が、無事実施されました事に安堵致しました。皆様の御協力ありがとうございました。



「シルバーの日早朝清掃」を実施

事務局 次長 堀 毅

シルバー人材センターでは、毎年10月をシルバー人材センター事業普及啓発促進月間と定め、その第3土曜日を「シルバーの日」として、全国のセンターが社会奉仕活動をする日となっています。毎年それに合わせ、社会奉仕活動として地域の清掃・美化運動を行い、シルバー人材センターの普及啓発促進を行っています。

今年は、10月1日（土）に3年ぶりに「伊勢まつり」会場周辺の早朝清掃を行いました。

天候にも恵まれ79名の参加をいただき、きれいなまちづくりとまつりの盛り上げに一役買うことができました。参加していただいた会員の皆さんありがとうございました。



市行政への要望活動について

全国シルバー人材センター事業協会の定時総会の決議に基づき、市長及び市議会議員に対して8月22日に角前理事長から要望書の提出を行いました。

要望書の内容は、シルバー事業への支援として、補助金の確保、公共からの発注事業の確保、インボイス制度における安定的な事業運営が可能となる措置などについてです。



市長要望



議長要望

福祉フェスティバル

福祉・家事援助サービス委員会 委員長 黒瀬 恵子

ようやく日常が戻りつつある中、サン・アリーナで10月10日に3年ぶりの福祉フェスティバルが開催されました。

いつものメインイベントとなる子供達に大人気のヒーローショーも無く屋台も出店も無く、コロナ禍という事もあり時間も短縮されました。

どれだけの人が来て下さるのか全く見当が付きませんでした。何と沢山の人が来た事か。私達シルバーからは“ペットボトルボウリング”と“コマの折紙”をメインにさせていただきました。

子供さん達を前にし、まるでお孫さんと遊んでいるかのような会員さん達の優しい“まなごし”がとても印象的でした。300本用意したうまい棒（お菓子）もあっという間に無くなり少し寂しい感がありました。



「シルバー知っ得講座」

業務部会 会長 中崎 茂

9月29日に「シルバー知っ得講座」が開催されて、25名の会員が参加しました。

市立伊勢総合病院の高尾雄介薬剤局長より「知っておくべき薬の話」のテーマで、約1時間の話がありましたが、主な内容は次の通りです。

- ①徳川家康は、江戸時代に平均寿命が30～40歳ぐらいのところ、自分で薬を調合するほどの薬と健康に気を使う健康オタクであったので、75歳まで長生きした。
- ②日本人の平均寿命は、現在、男性は81歳で女性は87歳であるが、日本の健康保険制度がアメリカやイギリスなどに比べて非常に充実しているおかげで寿命が延びている。
- ③血液サラサラの薬のバイアスピリン等を飲んでいる人が、歯を治療するのにサラサラ薬を止めた為に、血栓（血のかたまり）が頭にできて脳梗塞を起こした例が多く発生している。
- ④薬を水以外で飲んでも良いかどうかについては、牛乳の場合、薬の効果が弱まってしまう例もあり、ビールや酒などのアルコール類と一緒に飲むと記憶喪失になる例もある。コーヒーも中枢神経を刺激するので良くない。



感想として、このたびの受講により、薬や健康情報を知って健康で長生きすれば、結果的にシルバー人材センターで長く仕事ができることにつながると思いました。

地区連絡会活動状況

令和4年6月から11月の活動状況をご紹介します。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した地区もありますが、徐々に活動が再開されました。参加いただいた会員の皆様、大変お疲れさまでした。

● 清掃活動

中島地区 (会長 野村 剛)

10月22日に宮川堤公園でゴミ拾いのボランティア清掃を行いました。



小俣1地区 (会長 藤井佐太司)

11月6日にまちを美しくする運動に参加し、自宅から宮前保健福祉会館までのボランティア清掃を行いました。



明倫地区 (会長 豆原 保)

11月8日に宇治山田駅、伊勢市駅周辺でボランティア清掃を行いました。



小俣3地区 (会長 中村 定一)

11月20日に小俣町官舎神社社務所でボランティア清掃を行いました。



● 講習会

浜郷地区 及び 宮本・沼木地区 (会長 松林 信雄) (会長 北川 克己)

10月18日に浜郷地区と宮本・沼木地区合同で市健康課から講師を招き「シニア世代の健康づくり」講習会を開催しました。



● 地域活動

大湊地区 (会長 金森 泰彦)

9月11日に大湊町の「大湊秋祭り」行事に参加し、子どもたちとペットボトルボウリングで楽しく遊び、地域との交流を深めました。



会員互助会旅行

会員相互の親睦を深めるために、一泊旅行と日帰り旅行を次のとおり実施いたしました。参加いただいた会員の皆様、また企画から旅行終了までお世話いただきました行事部会の皆様、お疲れ様でした。

一泊旅行

「道後温泉」宿泊と「松山城」散策 11月18日(金)・19日(土)

「楽しかった道後の旅」

雲一つない晴天に恵まれ、コロナの影響が残る中、関係各位の尽力により3年ぶりの一泊二日の日本三古湯の一つ道後温泉への旅が実現しました。道後までは遠かったですが、ホテルでの豪華な食事に舌鼓、皆の熱の入ったカラオケにも酔いました。

雄大で美しい松山城に感動し、しまなみ海道をバスの車窓で巡り楽しい思い出となりました。(山崎 隆子)



宴会場での伊勢音頭



松山城天守閣から市街地を望む



松山城

日帰り旅行

たねや昼食とびわ湖テラス 11月25日(金)

雲一つない晴天の中、近江八幡市内を散策し、クラブハリエで有名なたねやで昼食をいただきました。びわ湖バレイでは、ロープウェイの空中散歩と山頂にあるびわ湖テラスからの絶景を楽しみました。また、帰りにはマキノ高原にある全長2.4kmのメタセコイアの並木道も訪れることが出来た一日でした。(村田 明美)



びわ湖テラス



ロープウェイからの絶景



メタセコイア

安全就業ニュース

令和 4 年度上半期の事故状況について報告します。

今年度上半期の事故件数は 20 件で、昨年度上半期より 2 件の増となっています。傷害では蜂に刺されたものが、9 件中 5 件発生しています。また、損害賠償では草刈り作業中の飛石によるものが 11 件中 9 件と相変わらず多く発生しています。

就業中の事故防止のため、安全就業パトロールを行っていますが、会員一人ひとりが安全意識を高め、引き続き事故防止に努めてください。



安全・適正就業パトロール員
登 俊生

令和 4 年度上半期の事故発生状況について

■ 傷害（ケガ）の部

発生日月	傷 害（ケガ）の 状 況
R4. 5.18	公園の草刈り作業中に、藤棚のツルを切ろうと背伸びをしたときに側溝に足をとられ転倒した。（腰部挫傷）
R4. 6.16	草刈り作業中に、飛石が右頬に当たった。
R4. 7. 2	空家の草刈り作業中に、飛石が右足下部に当たった。
R4. 7.12	剪定作業中に、木の茂みに隠れて見えなかった蜂の巣から飛び出してきた蜂に左手の甲、薬指及び人差し指を刺された。
R4. 7.12	公共施設敷地内で草引き作業中に、蜂に右腕、左腕、左耳の 3 か所刺された。
R4. 7.18	空地の草刈り作業中に、草むらから飛び出してきた蜂に右手甲を刺された。
R4. 8. 3	個人宅の庭の草刈り作業中に、切り落とした枝から飛び出た蜂に額を刺された。
R4. 9. 2	グラウンドの草刈り作業中に、付着した草を払い除けようとして乗用草刈り機の刃で右手人差し指と中指を切った。
R4. 9.21	パッカー車で集草作業中に、背中についた蜂に気が付かず乗車時に刺された。
計	9 件

■ 損害賠償の部

発生日月	内 容
R4. 5. 9	宅地造成地の草刈り作業中に、飛石により横の道路を走行中の車の左側及びフロントガラスを破損させた。
R4. 5.31	墓地の草刈り作業中に、飛石によりロウソク立てを破損させた。
R4. 7. 6	市道の草刈り作業中に、道路隣接の住居の雨樋と排水管を草刈り機で破損させた。
R4. 7.18	駐車場の草刈り作業中に、飛石により隣地に駐車中の車のフロントガラスを破損させた。
R4. 7.21	墓地の草刈り作業中に、飛石によりロウソク立てを破損させた。
R4. 7.22	墓地の草刈り作業中に、手押し草刈り機で縁石の角を破損させた。
R4. 8. 3	墓地の草刈り作業中に、飛石によりロウソク立てを破損させた。
R4. 8.24	公園の草刈り作業中に、飛石により駐車場に駐車中の車のリヤガラスを破損させた。
R4. 9. 3	市道の草刈り作業中に、飛石により走行中の車の左後部ガラスを破損させた。
R4. 9.15	墓地の草刈り作業中に、飛石によりロウソク立てを破損させた。
R4. 9.28	公園の草刈り作業中に、乗用草刈り機の飛石により付近に駐車中のリヤガラスを破損させた。
計	11 件

「健康診査・がん検診」を定期的に受けていますか？

伊勢市役所健康課 TEL：0596-27-2435

健康診査やがん検診を定期的に受けていますか？高血圧や糖尿病などの生活習慣病は自覚症状がないことが多く、いつの間にか病気が進行してしまう危険があります。病気の早期発見のためには、無症状のうちに健診（検診）を受けることが大切です。

また、健診（検診）を受けた方は、結果を把握していますか？せっかく健診（検診）を受けても、「結果を聞いていない」「精密検査が必要であったが受けずに放置している」という人がいます。健診（検診）は病気の早期発見・早期治療が目的の検査のため、検査結果はきちんと把握し、必要であれば主治医と相談の上、精密検査を受けるようにしましょう。

健康診査（特定健康診査・後期高齢者健康診査など）



40歳を超えたら、年に1度は健康診査を受けましょう。国民健康保険または後期高齢者医療に加入している人は、毎年7月から11月までの期間に無料で健診を受けることができます。その他の医療保険に加入している人は、各医療保険者が実施する健診を受けましょう。

※国保特定健康診査・後期高齢者健康診査に関するお問い合わせは、伊勢市役所医療保険課（電話：21-5552）へ

がん検診

現在日本人は、一生のうちに、2人に1人が何らかのがんにかかると言われています。がんは、すべての人にとって身近な病気です。検診で早く見つけて、早く治療を受けることが大切です。昨年度の市のがん検診では98人のがんが見つかりました（表）。

市のがん検診でがんが見つかった人数：98人
（令和3年度）

●大腸がん	30人	●胃がん	26人
●肺がん	20人	●前立腺がん	10人
●乳がん	11人	●子宮頸がん	1人

市の個別がん検診は、毎年7月から11月（女性がんは1月）までの期間で実施しています。集団がん検診（乳がん検診・子宮頸がん検診のみ）は3月まで実施しています。対象者や実施日、実施機関等については、広報いせや市ホームページでご確認をしてください。生活習慣に気を付けるとともに、定期的ながん検診を受けるようにしましょう。

成人健康相談・栄養相談

健康課では、保健師と栄養士による「成人健康相談」「栄養相談」を行っています。健康づくりや食事に関すること、健診結果の見方や、体調不安などの相談に応じます。ご希望の方は健康課までご連絡ください。

令和4年度第2回「シルバー知^{トク}得講座」開催のお知らせ

シルバー会員の皆さんが、生活に役立つ情報を得たり、地域の歴史や文化等にふれる機会として、右記のとおり「シルバー知^{トク}得講座」を開催します。第2回目は、「食品ロスへらそう」です。参加ご希望の方は、シルバー事務所まで。（電話 0596-37-7170）

日 時 令和5年2月17日（金） 午前10時～
場 所 いせトピア（伊勢市生涯学習センター） 学習室2
講 師 三重県環境生活部環境学習情報センターの皆さん
締 切 令和5年2月10日（金）（定員になり次第締め切り）

事務局だより

会員募集

会員拡大にご協力を
願います。

当センターでは、伊勢市在住で原則60歳以上の健康で働く意欲のある人を募集しています。

令和4年度も、新型コロナウイルスの影響で会員の減少傾向が続いており、会員を増やすべく、広報いせ等への広告掲載、昨年9月には会員募集の新聞折込チラシと自治会での回覧、10月以降はスーパー店頭でのパンフレット配布などを行っています。

会員の皆さんには、友人や知人の方に一声掛けていただき、入会のお誘いをお願いします。ご紹介いただいた方が入会された場合は、紹介会員さんに心ばかりのお礼をさせていただきます。
(事前に事務局へご連絡ください。)

入会説明会

日時 毎月第2金曜日 午後1時30分～
(3月は開催しません。)

令和5年1月13日、2月10日、4月14日、5月12日、6月9日、7月14日、8月10日、9月8日、10月13日、11月10日、12月8日

場所

伊勢市西豊浜町141番地1
伊勢志摩総合地方卸売市場2階
伊勢市シルバー人材センター事務所

※予約が必要ですので、事前に事務局までお問い合わせください。(電話37-7170)

入会・お仕事相談会

日時

毎月第4金曜日 午後2時～4時
令和5年4月 毎月第4水曜日

場所

伊勢市宮後一丁目1-35
MiraiSE(ミライセ) 8階
ハローワーク伊勢 相談室

※予約制ですので、詳しくは事務局までお問い合わせください。(電話37-7170)

配分金支払証明書の送付について

令和4年1月～12月分就業の配分金支払証明書は、令和5年1月15日頃、圧着はがきで発送予定です。

令和5年度定時総会開催のお知らせ

ご案内は、別途致しますのでご参加いただきますようお願いいたします。

令和5年度定時総会

日時 令和5年6月2日(金) 午後1時30分～
場所 いせトピア 多目的ホール
(伊勢市生涯学習センター)

新道連絡所のご案内

令和4年10月から担当者が交代しました。

中村 キヌ 久保田 宮子 よろしく申し上げます。

会員の皆さんへ
確定申告のお知らせ

今年も確定申告の時期が近づいてまいりました。

皆さんが受領した「配分金」収入は、必要経費を控除した金額を「雑所得」として、所得税の確定申告をする必要があります。

令和4年分の所得税の確定申告期間

令和5年2月16日(木)から
令和5年3月15日(水)

※令和4年12月7日時点での情報によります。

配分金に係る雑所得の計算方法

1. 配分金収入から必要経費を控除した金額です。

2. 必要経費の額が65万円未満の場合は、収入金額を上限として65万円を控除することができ
ます。

(注)シルバー人材センターからの収入のほかに給与収入や事業所得及び公的年金以外の雑所得がある場合は、65万円から給与収入金額や事業所得と公的年金以外の雑所得の必要経費を差し引いた差額でしか控除できませんのでご注意ください。

3. 詳しくは、税務署や市役所課税課担当へ相談してください。

◆◆編集後記◆◆

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、今年は卯年です。うさは穏やかで温厚な性格なうえ、その飛躍する姿から「家内安全、向上」を象徴するものとして親しまれてきました。近年新型コロナウイルスの話題に事欠かない日々が続いてきましたが、本号は伊勢まつり、福祉フェスティバル、旅行、地区連絡会の活動紹介等、楽しい話題が多数掲載でき安堵しています。

卯年は新しいことに挑戦するのに最高の年と言われています。私は健康第一をモットーにウォーキングを週2回1時間を実行したいと思います。会員の皆様も今年こそコロナの話題から卒業でき、明るい良い年にしたいだければ幸いです。

編集委員 鳥羽とよ子

報 下

(令和4年7月～11月) 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

松尾

和夫

郁雄

さま

さま

合掌 会員一同